

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学部
評価基準 5	学生の受け入れ 【 A 】
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
評価の視点	求める学生像の明示
	当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示
	障がいのある学生の受け入れ方針
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
評価の視点	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性
	入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
評価の視点	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性
	定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
点検・評価項目(4)	5-4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

5-1	<p>学部のアドミッション・ポリシーは以下の通りである。</p> <p>スポーツ・健康科学部は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、スポーツや健康に関する高い教養と専門知識を学び、社会人として協調性を持って業務を遂行する能力を身につけ、スポーツや健康の分野で多様な人々とのコミュニケーション能力、リーダーシップを発揮できる人材を育成するために、下記のような人物を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ科学・健康科学を学ぶための十分な基礎学力を有する人</li> <li>2. スポーツ・学校教育・健康と医療・食品・環境の分野で活躍したい人</li> <li>3. 高い学習意欲を持ち、将来にわたりスポーツ科学および健康科学の増進に邁進する意志を持つ人</li> <li>4. 常に自己鍛錬を怠らず、自らの人間性を高めようと努力する気概のある人</li> </ol> <p>求める学生像については、学科の受け入れ方針（アドミッションポリシー）として明文化されている。</p> <p>スポーツ科学科の受け入れ方針は</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ科学を学ぶための十分な基礎学力を有する人、</li> <li>2. 生涯にわたりスポーツに関連したことに携わり、スポーツを通じた社会貢献をめざす人、</li> <li>3. 本学スポーツ科学科に対して深い理解があり、未来の夢をかなえるための熱い情熱を持ち行動するパワーのある人、</li> <li>4. 課題達成のために自ら学ぼうとする高い学習意欲を持ち、論理的に問題解決することに継続的な努力ができる人、</li> <li>5. 人と人のつながりの重要性をよく理解し、それを重んじて生活している人</li> </ol> <p>である。</p> <p>求める学生像については、学科の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）として明文化されている。</p> <p>健康科学科の受け入れ方針はディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、医療・食品・環境のスペシャリストを育成するために、下記のような人物を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康科学を学ぶための十分な基礎学力を有する人</li> <li>2. 臨床検査分野の主要科目である医療検査科学を学ぶために継続的な努力を惜しまない人</li> <li>3. 食品科学を学び、食の安全及び安心に貢献したい人</li> <li>4. 環境科学を学び、地球環境の保全に貢献したい人</li> <li>5. 臨床検査・食品・環境分野の専門性を活かして国民の健康に貢献することを熱望する人</li> </ol> <p>学部として、障がいのある学生の受け入れ方針については、入学後の学修支援等を含めて全学の受け入れ方針に従って対応している。</p>
5-2	<p>学部として、入学者選抜については、公平性と透明性の原則に則って、適切に行われている。学生募集については大学 HP、大学案内（CROSSING）、入試要項等を媒体として周知している。また、入学者選抜における公平性と透明性を確保するため、入試結果を公表している。</p>
5-3	<p>学部として、在籍学生数の管理については、学科入試委員会において毎年度の入学者受入数を確定し、さらに合否判定におい</p>

	て、単年度入学定員超過率および4年間の平均入学定員超過率を勘案しながら適切に行っている。収容定員に対する在籍学生数比率は1.13倍となっている。
5-4	学部として、学生募集および入学選抜が公正かつ適切に実施されているかは、学科自己点検部局委員会、入試委員会等で検証して責任主体・組織、権限、手続きを明確にしている。

【効果が上がっている事項】

5-1	学部として、アドミッション・ポリシーを公表し、求める学生像および入学前に修得しておくべき知識等の内容・水準を明示している。障がいのある学生の受け入れについては、受験前に情報を得ることにより、予め受験受け入れ準備が可能な体制を整えている。
5-2	学部として、公平性と透明性の原則に則って、適切に入学選抜を行っている。
5-3	
5-4	

【改善すべき事項】

5-1	学部として、障がいのある学生の受け入れ方針について、大学全体としての整備の後に、学部学科としての対応を検討していく必要がある。
5-2	
5-3	
5-4	

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

大東文化大学入学選抜試験規定、大東文化大学入学試験委員会規定、入試について（評価指標データ）、2013年度 大学基礎データ
---

【2014年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
14年度目標	5-2,5-3 安定的な志願者・入学者を確保し、学力選抜（一般入試）と非学力選抜（推薦入試等）による入学者の適正な比率を保つ。入試が一定の学力水準を維持するための選抜機能を果たすようにする。	入学定員が適正に確保されている。学力選抜（一般入試）と非学力選抜（推薦入試等）による入学者の適正な比率が保たれている。	→					
	5-3 入学定員(100名)を適正に維持する。	左記の入学者が確保できている。	→	A				
	5-3 学力選抜入学者と非学力選抜入学者の適正な比率を維持する。	左記の適正な比率が維持されている。	→	A				
	5-1 障がいのある学生の受け入れ方針を策定する。	学部学科の方針が定められ、公表されている。	→	B				